

# 腰椎椎間板ヘルニアに対する 椎間板内酵素注入療法(ヘルニコア)

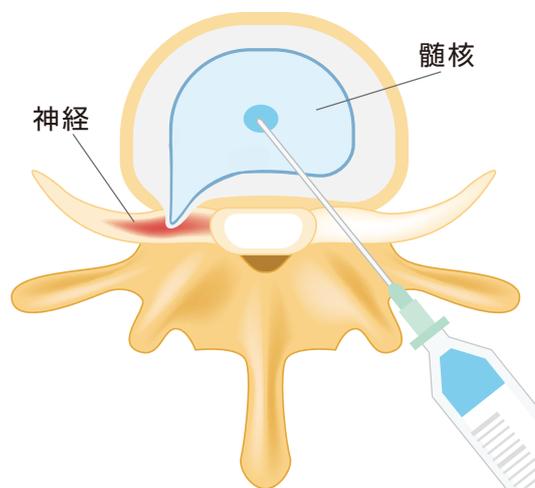
背骨と背骨の間のクッションの役割を持つ椎間板の内部には、中央に柔らかい髄核という組織があります。この髄核が後ろに脱出して、神経を圧迫するようになったものが椎間板ヘルニアです。下肢のしびれや痛み、麻痺（力が入らない）、排尿排便障害などの症状が生じます。現在の腰椎椎間板ヘルニアの治療は、保存療法と手術療法のふたつに大別され、保存療法が治療の原則となっています。

ヘルニコアは、椎間板内酵素注入療法に使用する薬剤で、ヘルニアを起こしている椎間板の髄核内に直接注射します。全身麻酔の必要もなく、局所麻酔で行うことができるため、手術と比較して患者さんの身体的負担が小さい利点があります。

ヘルニコアの有効成分コンドリナーゼは、髄核の保水成分（プロテオグリカン）を分解する酵素です。通常、髄核には保水成分が豊富にあるため、水分を含んで膨らんだ状態にあります。これは、飛び出して神経を圧迫しているヘルニアの髄核でも同じです。

この髄核に適切な量のヘルニコアを注入すると、コンドリナーゼによって髄核内の保水成分が分解され、水分による膨らみが適度にやわらぎます。

その結果、神経への圧迫が改善し、痛みやしびれが軽減すると考えられています。



椎間板内酵素注入療法（ヘルニコア）は健康保険が適用されます

## ヘルニコア治療の注意点

- ▶ ヘルニアの形や出ている位置によってはヘルニコア治療の適応とならず、他の方法での治療をお勧めする場合があります。
- ▶ 投与によるアナフィラキシーの発現（かゆみ、蕁麻疹などの皮膚症状、腹痛、吐き気などの消化器症状、視野が狭くなるなどの視覚症状）の可能性があります。アレルギー体質の方はヘルニコア治療に注意が必要です。
- ▶ 過去にヘルニコア治療を受けたことのある方は再度この治療を受けることができません。



医療法人医誠会  
医誠会病院

■脳神経外科・脊椎脊髄外科

〒533-0022 大阪市東淀川区菅原 6 丁目 2-25

TEL: 06-6326-1121 FAX: 06-6326-6363